

統合看護実習

ナンバリング:N4-S1-J16

責任者・コーディネーター	看護学部臨地実習部会長		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座 地域包括ケア講座 成育看護学講座		
対象学年	4	区分/単位数	実習/2単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

既習の知識・技術を統合し、患者個々の様々な状態を的確に判断し、状況に応じて優先順位を考慮した看護を実践できる能力を養う。また、健康の保持・増進、治療、回復において、様々な役割・機能を担っている医療機関・施設での実践を通して、チーム医療を行う上での看護の独自の役割を理解する。さらに、継続して健康管理が必要な人々の保健・医療・福祉に対するニーズ、健康観や健康問題への対処方法を把握し、社会資源の活用方法や地域医療連携のあり方を学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

既習の知識・技術を統合し、今までの臨地実習での体験をもとに、判断能力・実践能力を身につけることができる。対象者それぞれのニーズを的確に判断し、優先順位を考慮した看護実践を学ぶ。さらに、看護管理者の役割、組織におけるリーダーシップ・メンバーシップの役割を具体的に学ぶことで、看護におけるマネジメントの基礎的能力を身につけることができる。様々な役割・機能を担っている医療機関、施設との連携や、多職種協働の実践を学ぶことで、その中での看護職の役割を認識できる。統合実習を通して、自己の責任と能力を的確に認識し、実施した看護について責任をもつ必要性や、今後の課題を明らかにすることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

各領域実習要項に掲載

・実習日程

日程	1週目 9/7(月)～9/11(金) 2週目 9/14(月)～9/18(金)
	ただし、地域在宅看護学領域の一部(※1)と母性看護学領域(※2)の日程は以下のとおり
	※1 地域在宅看護学領域のうち盛岡赤十字病院、盛岡市立病院、往診クリニック3施設に関して 1週目 9/14(月)～9/18(金) 2週目 9/28(月)～10/2(金)
	※2 母性看護学領域 1週目 10/5(月)～10/9(金) 2週目 10/13(火)～10/16(金)

担当教員	共通基盤看護学講座 野里 同 教授 佐藤 奈美枝 教授 柏木 ゆきえ 准教授 伊藤 奈央 准教授 小林 由美子 講師 小坂 未来 講師 三上 邦子 講師 松田 悠史 講師 畑中 るり子 助教	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授 岩淵 光子 教授 熊地 美枝 准教授 高崎 邦子 講師 館向 真紀 講師 藤澤 純子 助教 菊池 佑弥 助教 赤井 純子 助教 五日市 瑠美子 助教	成育看護学講座 高橋 亮 教授 蛸崎 奈津子 教授 遊田 由希子 特任教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師 伊東 佐由美 講師
授業内容/到達目標	【授業内容】 【関連するSBO】各実習要項に記載 【事前学修:1日60分】 【事後学修:1日90分】 事前事後学修に関しては、担当教員の指示のもと、既習内容の復習や予習を行い、注意事項、要点などをまとめること。 また、事前学修した内容は、ファイルに綴じて、実習中に活用し、復習しやすいようにすること。		

・教科書・参考書等

教:教科書 参:参考書 推:推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践[1] 看護管理 第11版	上泉和子 他	医学書院	2024

* 上記以外は、各領域のプレゼンテーション時に伝える

・成績評価方法

【総括的評価】 各領域の実習評価表により行う。(評価の配点割合については各実習要項に記載)

【形成的評価】 看護学臨地実習においては、実践や記録に関して、教員・指導者からの助言がなされる。助言内容を理解し、省察することが自身の成長につながる。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1~8	各実習要項 にあり						100	100
合計		0	0	0	0	0	100	100

(備考)実習領域ごとにルーブリックによる実習評価表あり

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】
 毎日の学生カンファレンス時にも教員・指導者からのコメント・助言がある。
 実習評価表に基づいて、中間および終了時に個人面接を行う。

【その他】
 6/15(月)4限に実施される実習ガイダンス①の際に実習希望領域調査を実施する。
 各領域での受け入れ人数等を調整したうえで実習領域を決定する。7/22(水)の実習ガイダンス②までにはWebClassから実習配置表を提示する。
 実習終了後に実施する「4年間の実習での看護技術経験状況」調査は、WebClass上に作成したアンケートフォームを用いて実施する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】
 看護師(別表3):臨地実習 看護の統合と実践

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】
 当該科目に関連する実務経験の有無 有
 病院、訪問看護ステーション等で看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
	各領域実習要項に記載する。		